

# 野菜需給安定対策の概要

- 野菜を安定的に消費者に供給するため、国が需給ガイドライン等を策定し、生産者団体等はそれらを踏まえた供給計画を作成し、供給計画に基づく生産・出荷を推進。
- 豊凶に伴う価格高騰・低落対策として価格高騰時には出荷の前倒し等を、価格低落時には出荷の後送り、加工用販売、市場隔離等を行う緊急需給調整対策を措置。

## ○指定野菜の計画的な生産・出荷の推進

需要及び供給の見通し(国)  
(概ね5年ごとに策定)

需給ガイドライン(国)  
(毎年、5月(冬春野菜)、11月(夏秋野菜)に策定)

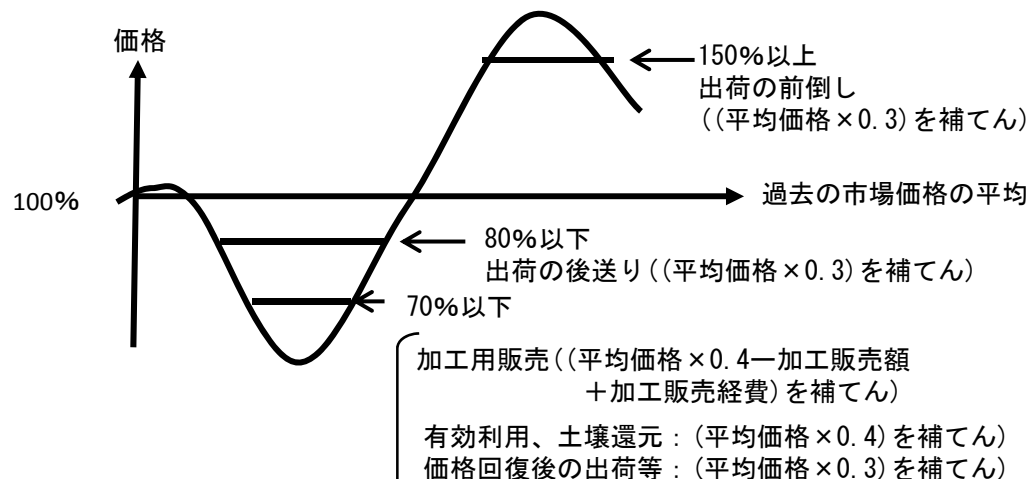
供給計画(全農、県経済連、大規模生産者等)  
(種別ごとに年2回作成)  
(は種・定植前の当初計画、出荷前の確定計画)

指定野菜(14品目)  
キャベツ、きゅうり、さといも、だいこん、トマト、なす、  
にんじん、ねぎ、はくさい、ピーマン、レタス、たまねぎ、  
ばれいしょ、ほうれんそう

## ○重要野菜等の緊急需給調整対策

国50%：生産者50%  
※国、生産者の拠出により、  
(独)農畜産業振興機構に資金を造成

### <発動基準と補てん額>



重要野菜  
キャベツ(周年)、たまねぎ(周年)、秋冬だいこん、秋冬はくさい  
調整野菜  
春だいこん、夏だいこん、春はくさい、夏はくさい、レタス(周年)、にんじん(周年)